



今月の記事

地域包括ケア

先月からの愛の園

支える人々Part II

リレーエッセイ

6～7月の予定



「高齢期を自分らしく」講演会開催

居宅介護管理者
崎山賢士

5月30日に有料老人ホーム深和ホームにて社会福祉法人神愛会の社会貢献事業として、法人理事の服部万里子氏を招いて講演会を行いました。演題は「今後の介護保険制度と地域包括ケアシステムについて」と少々難しいテーマだったのですが、多くの資料を基に丁寧に解説をしていただきました。

講演の冒頭で高齢期を元気で自分らしく暮らすために、どのようなことが心配かとう問いが投げかけられ、「お金」、「健康(医療)」、「こころ」の問題を解決していかねばならないこと、また人口が減る中で高齢者がこれからも増えていくことから、高齢者自身が自身の問題としてしっかりと考えることが必要であると説明されました。そして、高齢期を元気で自分らしく暮らすためには、医療、保健、介護、福祉をはじめとした様々な政策やサービスを一つにまとめ、切れ目なく、効率的にそれぞれの地域の特色に応じて運営していく事が大切

で、それを実現していくために地域包括ケアシステムが必要であるとの説明がありました。参加者の中には介護支援専門員をはじめと多くの専門職もおられました。その方々に対しては地域包括ケアシステムのキーパーソンとして頑張ってほしいと熱く厳しいエールが送られました。この講演会には70名の参加があり、講演会終了後に20名ほどが深和ホームの内覧会に参加されました。



内容豊かな講演に熱心に耳を傾ける参加者の皆さん



進入路脇のアジサイももうすぐ見頃に。瑞々しい季節の到来です。

先月からの愛の園 あんなこと、こんなこと



岩田幼稚園年長組園児の花の日の訪問で、歌と花束のプレゼントをいただきました。 5/19



手芸サークルにて。実習中の熊野高校看護専攻科学生も加わり賑やかな時間となりました。 5/20



アドベンチャーワールドへの遠足にご家族含め37名が参加。カバの餌やりも体験しました。 5/28

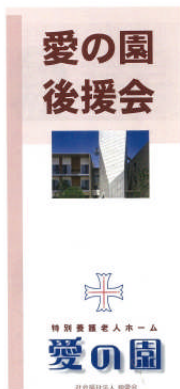


8ユニット久保知佐子さん(中央)の100歳の誕生日を記念して風船を付けたお菓子撒き。 6/1



支える人々 Part II 「愛の園後援会」

後援会事務局
堀 美都子



入会案内は事務室まで
お問い合わせください。

愛の園後援会は、愛の園に居られる生活援助を必要とされる高齢者の方々が、その人らしく豊かに暮らし、共に生きる喜びを分かち合う為に、ご家族、地域の方々、ボランティア、職員が協力して昭和56年(34年前)に結成されました。現在の会員数は県内外を合わせ約550名いらっしゃいます。

毎年9月に行われる「一日我が家」では家族の会との協賛で催し物が行われたり、12月のクリスマスプレゼントには各ユニットにお花のアレンジメントをお配りしたり、介護浴槽や大型テレビ、スロープ付きの軽自動車など、毎年様々な後援を行って入居者の皆さんに喜んでいただいております。

年会費は1口1000円で何口でも可能です。現在のところ、年1回「愛

の園後援会だより」を発行しております。結成してから34年にもなりますので、以前からの会員の方々もご高齢になられ、退会される方も増えてきています。後援会の活動にご賛同いただき、お一人でも多くご入会いただけるよう、今後も頑張って活動していきますので、よろしく願い致します。



昨年のクリスマスでの介護浴槽贈呈の様子

リレーエッセイ(34)「オーストラリア旅行」 生活相談員 千葉明大

今回、私はオーストラリアのクイーンズランド州にある港町のケアンズへと旅行しました。

まず、最初に受けた印象は、とにかく暑い。日本の3倍も紫外線が強いということで、日焼け止めを塗らないと大変なことになりますよ、とガイドの方に教えていただきました。

目の前には綺麗な海、緑豊かな広大な土地。現地の方々も優しく親切な方が多く、オーストラリアに馴染むのには時間はあまり要りませんでした。英語は得意ではありませんが、相手の言う単語を理解さえ出来れば何を言いたいのかがわかりました。

初日はグレートバリアリーフに浮かぶグリーン島へ行きました。そこでシュノーケリングを行った時には、ウミガメやたくさんの魚が目の前を泳いでおり、今までに体験したことがない自然の美しさを堪能することが出来ました。以前、『世界の車窓から』というテレビ番組で見て

以来の念願であった、キュランダ鉄道の列車にも乗車して絶景を眺めることが出来ました。

なかなか日々の仕事の合間で長期の休暇を取り旅行に出掛けることは出来ませんが、普段とは全く違う環境での生活は、とても勉強になりました。自然や生き物を大切に、その環境を壊さない様にながら共存していくことの素晴らしさを学ぶことが出来ました。

次回のリレーエッセイは1Fケアワーカーの 淵上巴喜さんをお願いします。



グリーン島での夕暮れは特に綺麗に感じました

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

Email ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

6~7月の愛の園

- 11(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 14(日) 日曜礼拝(聖餐式)
- 16(火) ひまわり会
- 17(水) 手芸サークル
- 18(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 19(金) 社協ボランティア来園
- 20(土) 家族の会役員会
- 21(日) 日曜礼拝(み言葉の礼拝)
- 23(火) マリア会
- 25(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 28(日) 日曜礼拝(聖餐式)

- 2(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 5(日) 日曜礼拝(み言葉の礼拝)
- 9(木) やまびこ会 ヨガ教室

編集者から

4月にインテックス大阪で開催された「高齢者・障害者の快適な生活を提案する総合福祉展」へ行ってきました。

食に関するものから服薬時に嚥下(飲み込み)を補助するゼリー、福祉車両、介護ロボットまで幅広く展示されていました。展示されていた「立つ、歩く」を安全にサポートする免荷式リフトPOPOという介護ロボットを一週間レンタルし、普段は車イスや歩行器を使用している方々に試して頂きました。「歩きやすいよ」とスムーズに歩行される方や、この「介護ロボットはいらない」と辛口の声もあり、進化する福祉機器の実際について貴重な意見を聞くことができました。(1)